

「高齢者肺炎球菌予防接種」説明書



接種を受ける前によく読み、予防接種の必要性や副反応等、十分ご理解ください。

○令和2年度対象者の接種期間

令和2年6月1日～令和3年3月31日までの期間で、体調の良い日に受けてください。

○肺炎球菌とは

肺炎球菌は、もともと私たちの鼻やノドの奥にすることがある細菌です。私たちが元気なときには症状は出ませんが、免疫力が下がったり、体調をくずしたり、カゼをひいて気道が荒れたりすると、ふだんは菌のいないところに入りこんだり、粘膜を伝わったりして、感染症を引きおこします。

○接種が不適当な方

次のいずれかに該当すると認められる場合には、接種を行ってはいけません。

- ① 明らかな発熱を呈している方
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 本剤の成分によってアナフィラキシーを呈したことが明らかな方
- ④ 上記に掲げる方のほか、予防接種を行うことが不適当な状態にある方



○接種要注意者

健康状態及び体質を勘案し、次のいずれかに該当すると認められる場合には、注意して接種しなければいけません。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有することが明らかな方
- ② 予防接種で接種後2日以内に発熱のみられた方及び全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- ③ 過去にけいれんの既往のある方
- ④ 過去に免疫不全の診断がなされている方及び近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 本剤の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方

○接種後の注意

- ① 接種当日は激しい運動を避けてください。（接種当日の入浴は差し支えありません。ただし注射したところをこすらないでください。）
- ② 接種後に発熱したり、接種した部位が腫れたり、赤くなったりすることがありますが、一般にその症状は軽く、通常、数日中に消失します。
- ③ 接種後は自らの健康管理に注意し、もし、高熱や体調の変化、その他局所の異常反応に気づいた場合は、ただちに医師の診療をうけてください。